



ながら SDGs 通信 第14回 目標11.住み続けられるまちづくりを

11 住み続けられる
まちづくりを



長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太

世界のおよそ半分の人々は都市に住んでいます。「目標 11. 住み続けられるまちづくりを」では、安全な住まいを供給し、交通網や公園を整備し、自然を守り、大気汚染を減らし、災害に負けない都市を目指します。また、日本においては、都市と農村の交流を活発化し、地方の衰退を食い止めるため、自治体 SDGs モデル事業といった持続可能なまちづくりの取組みが各地で進められています。

さて、住み続けられるまちづくりでよく使われる言葉に、「レジリエンス」があります。レジリエンスとは、「回復力」や「しなやかな強さ」を意味します。レジリエンスを目指すまちでは、例えば、日頃から災害への備えやリスク管理をしたり、災害に遭ってもすぐに復旧できる道路や建物を整備したりすることによって、地震や水害などの困難に直面した時にできるだけ早く元の状態に戻れるようにします。このような自然災害に対する「予防」や被災を前提とした「回復力」には、自治体による備えだけでなく、私たち一人ひとりの防災意識を高めることも重要です。